

**第22回
アジア太平洋小売業者大会
[東京大会]**

2026年10月7日(水) — 10日(土)

東京国際フォーラム

および周辺施設

《協賛のご案内》

主催

**アジア太平洋小売業協会連合会 (FAPRA)
日本小売業協会**



**22nd
APRCE
TOKYO 2026**



第22回アジア太平洋小売業者大会 ご協賛のお願い

アジア太平洋小売業協会連合会（18カ国・地域加盟）と日本小売業協会は、2026年10月に第22回アジア太平洋小売業者大会（The 22nd APRCE Tokyo 2026）を東京で開催します。本大会は、アジア太平洋地域の小売業トップが一堂に会する国際会議で、1983年に第1回大会を東京で開催して以来、隔年で各国・地域で開催され、40年を超える歴史を誇る世界有数の国際大会へと発展しております。

19年ぶりの東京開催となる第22回大会（以下、2026東京大会といいます）では、「小売業の未来～革新と普遍～」を大会テーマに掲げ、国内外の著名な小売業経営者や有識者をスピーカーにお迎えする国際会議や、日本をはじめ各国・地域の先端テクノロジーなどを紹介する展示会を開催いたします。あわせて各種の交流レセプションや商談会、視察ツアーなども同時開催し、活気に満ちた意義ある大会の実現を目指してまいります。本大会には、国内外から国際会議に4千名以上、展示会に1万名を超える参加者をお迎えし、ご来場いただいた小売業者および小売業に繋がる様々な関係者の方々が、国や地域、業種や業態の垣根を超えて、学び合い、ビジネス上のネットワークづくりができる大会にしたいと考えております。

2026東京大会準備のため、すでに日本の小売業界を代表する企業や団体のトップの方々からなる実行委員会を立ち上げ、多くの関係者をあげて準備に着手しております。2026東京大会の成功に向けて、一人でも多くの皆さまのお力添えが何よりも重要となります。大会の開催趣旨、内容等をご理解いただき、是非ともご協賛くださいますようお願い申し上げます。

第22回アジア太平洋小売業者大会 会長 野本 弘文
同 財務委員会 委員長 増本 岳

I. 第22回アジア太平洋小売業者大会概要

本大会では国際会議と展示会が開催されます。国際会議には、国内外から70名を超える著名な小売業経営者や有識者をスピーカーとしてお招きするスーパーセッションや分科会を通じてプレゼンテーションや質疑を行います。また、ウェルカムレセプションやフェアウェルパーティー、商業施設等視察ツアーなど、様々な場面で参加者相互の交流を図ることもできます。このほか、同時開催される展示会では、日本をはじめ各国・地域の先端テクノロジーなどを紹介します。

大会テーマ	小売業の未来 ～革新と普遍～
会期	2026年10月7日(水)～10日(土) (国際会議、展示会および商業施設等視察ツアーを含め4日間予定)
会場	東京国際フォーラムおよび周辺施設
主催	アジア太平洋小売業協会連合会 (FAPRA)・日本小売業協会
後援	経済産業省、東京都、日本商工会議所、東京商工会議所 など
来賓依頼予定	内閣総理大臣、東京都知事
プログラム	10月7日(水) ウェルカムレセプション 10月8日(木) 開会式、基調講演、スーパーセッション、 分科会、各国別小売業界状況報告 10月9日(金) スーパーセッション、分科会、フェアウェルパーティー 10月10日(土) 商業施設等視察ツアー
参加人数(想定)	国際会議：約4,000名 展示会：約10,000名(国際会議参加者約4,000名を含む)
参加国・地域	アジア・太平洋地域の18カ国・地域(アルファベット順) 中国、台湾、フィジー、香港、インド、インドネシア、日本、 キルギス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、ニュージーランド、 フィリピン、シンガポール、韓国、スリランカ、タイ、ベトナム
国際会議スピーカー	国内外の有識者、流通・小売業主要企業経営者、 アジア太平洋地域小売業経営者
公用語	日本語・英語 (主要会議は、英語、日本語、中国語、韓国語の同時通訳予定)
同伴者プログラム	大会参加者に同伴される方のツアーを用意



22nd
APRCE
TOKYO 2026

第 22 回アジア太平洋小売業者大会のシンボルマーク

大会コンセプトである「革新と普遍」を銀杏をモチーフにシンボル化。ひとが交流し、未来に向けて広がり、発展していく様を表現しています。日本の紅葉をイメージした 2 色をテーマカラーとして設定しています。

大会コンセプト

AI（人工知能）やロボティクスに代表されるイノベーションは小売業の姿を大きく変えようとしています。過去の延長線上に生き残る道はありません。小売業はデジタル化がもたらす変化のなかで、ビジネスモデルを刷新し続け、生活者に新たな価値を提供していく必要があります。一方、テクノロジーにとどまらず、これまで小売業が日頃培ってきた匠の技や現場での創意工夫もイノベーションであり、これに磨きをかけ、豊かで快適で便利なライフスタイルを顧客に提供していくことも小売業の重要な使命であり続けるでしょう。

同時に小売業は、Z世代の台頭やダイバーシティ&インクルージョンの受容、一部の国で急速に進む高齢化、都市問題、グローバルな気候変動問題など、内外の様々な変化や社会的課題への対応に迫られています。さらに 2030 年を期限とする SDGs（持続可能な開発目標）の達成、多くの国・地域が掲げる 2050 年のカーボンニュートラルの実現という観点からも、弛むことなく進化し続けていく必要があります。

いま日本では少子高齢化が進展し、小売業においては人手不足と人件費高騰、物流問題、カスタマーハラスメント、ロスプリベション、頻発する自然災害への対応など、多くの課題を抱えています。これらのなかにはアジア太平洋地域の国・地域が将来直面するであろう事柄も多くあり、課題先進国である日本の小売業の取り組みは、同地域の小売業者が、長期的な展望を描くうえで大いに参考になることでしょう。

そして、大きく社会が変化するなかでも、小売業には変わらない普遍的な法則があります。それは「小売業は常に顧客に寄り添い、結果として顧客の支持を得て繁栄する」というものです。顧客はもちろん、従業員や取引先、地域社会など事業に関わる多様なステークホルダーにも支えられ、ともに繁栄していく姿勢を維持続けるべきです。小売業は、製造・卸売業、ITベンダーからホテル、観光、飲食などのサービス産業に至るまで裾野の広い産業であり、「三方よし」という日本古来の商道德や「自利利他」といったアジア由来の思想の大切さはいつの時代も変わりません。

アジア太平洋地域は世界有数の巨大市場であり、今後もさらなる成長が予想されています。内在する地域課題を克服し、さらに魅力的な地域になることを目指して、わたくしたちは以上のようなコンセプトを踏まえ、「小売業の未来～革新と普遍～」というテーマのもと、2026 年 10 月、第 22 回アジア太平洋小売業者大会を東京で開催します。この地域の小売業および小売業に繋がる様々な関係者が一堂に集い、国や地域、業種や業態の垣根を越えて、持続可能な小売業の未来を見据え、お互いの経験や現状を共有し、学び合い、交流を深め、ビジネスの機会を探る大会にしたいと考えております。

Ⅱ . 第 22 回アジア太平洋小売業者大会 展示会 概要

本大会では、国内外から 4 千名以上が参加する国際会議のほか、展示会「RETAIL EXPO Tokyo 2026」を開催します。この展示会には、1 万名を超える参加者の来場を予定しており、小売業界での共通課題への取り組みや先端テクノロジーなどをご紹介するとともに、来場者の皆さまの将来のビジネスモデル構築やネットワークづくりの絶好の機会となるよう企画してまいります。

会 期	2026 年 10 月 8 日 (木) ~ 9 日 (金)
名 称	RETAIL EXPO Tokyo 2026
会 場	東京国際フォーラム 展示ホール
会場面積	5,000㎡
展示会規模 (予定)	70 社 170 小間 (1 小間 9㎡)
来場予定者	約 10,000 名 (国際会議参加者約 4,000 名含む)
出展対象 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ① 最新流通業ゾーン ② 日本の文化・伝統、和のゾーン ③ 流通業のビジネスソリューションゾーン
来場対象	<ul style="list-style-type: none"> ① 大会参加者 (アジア太平洋小売業協会連合会加盟 18 カ国・地域より) ② 流通業および消費財メーカーの関係者 (経営者・役員 / 経営企画・販促 / 情報システム・DX 推進 / 商品開発・マーケティング / 物流・在庫管理 / 人事・広報・サステナビリティ等)
来場動員計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本小売業協会会員企業や各種業界団体を通じての来場動員 ② アジア太平洋地域の 18 カ国・地域の小売業団体を通じての来場動員
入場料	無料

Ⅲ . ご協賛いただくメニュー内容

ご協賛いただいた各社には以下のメニューをご提供いたします。

なお、以下のメニュー内容は今後変更となる可能性があります。予めご了承ください。

ダイヤモンドスポンサー 協賛金 5,000 万円

- ◆ 展示ブース 16 小間 (3m × 3m/1 小間)
- ◆ 会議参加券 100 枚
- ◆ セカンドサーキュラー、プログラム集、展示会ガイドブックへの広告掲載 (電子と紙の併用) 表2、表3、表4のいずれか1頁(4色、掲載面は抽選)
- ◆ 会場内での社名・ロゴ等掲示 (大)
- ◆ 大会公式ホームページから貴社ホームページへのリンク
- ◆ 大会公式ホームページでの記事掲載
※記事原稿は各協賛企業にて作成
- ◆ ガラス棟 6 面バナーへのロゴ掲載
- ◆ ロビーギャラリーのブリッジバナーへのロゴ掲載
- ◆ 参加者用名札・ストラップへのロゴ掲載
- ◆ 国際会議会場内スクリーンでの PR 動画の上映(動画1分以内、幕間、コーヒープレイク時など)
※動画は各協賛企業にて制作
- ◆ 会場内でのデジタルサイネージでの PR 動画の上映 (動画 15 ~ 30 秒以内)
※動画は各協賛企業にて制作
- ◆ 実施報告書へのロゴ掲載
- ◆ 貴社主催の交流レセプションでの「APRCE 2026 (仮称)」名義使用权
※他プログラムの都合上、開催日は 10 月 8 日 (木) 夜に限定させていただきます。
- ◆ 国際会議でのセッションの主催
- ◆ 展示会場内でのプレゼンテーション
- ◆ 貴社占有会議室の貸与
- ◆ 貴社展示ブースへの各国代表の誘導 / ツアー
- ◆ 会議・展示会参加者リストへのアクセス
- ◆ VIP ランチへのご招待

プラチナスポンサー 協賛金 3,000 万円

- ◆ 展示ブース 14 小間 (3m × 3m/1 小間)
- ◆ 会議参加券 75 枚
- ◆ セカンドサーキュラー、プログラム集、展示会ガイドブックへの広告掲載 (電子と紙の併用) 1 頁 (4色、掲載面は抽選)
- ◆ 会場内での社名・ロゴ等掲示 (大)
- ◆ 大会公式ホームページから貴社ホームページへのリンク
- ◆ 大会公式ホームページでの記事掲載
※記事原稿は各協賛企業にて作成
- ◆ ロビーギャラリーのブリッジバナーへのロゴ掲載
- ◆ 参加者用名札・ストラップへのロゴ掲載
- ◆ 国際会議会場内スクリーンでの PR 動画の上映 (動画 1 分以内、幕間、コーヒープレイク時など)
※動画は各協賛企業にて制作
- ◆ 会場内でのデジタルサイネージでの PR 動画の上映 (動画 15 ~ 30 秒以内)
※動画は各協賛企業にて制作
- ◆ 実施報告書へのロゴ掲載
- ◆ 貴社主催の交流レセプションでの「APRCE 2026 (仮称)」名義使用权
※他プログラムの都合上、開催日は 10 月 8 日 (木) 夜に限定させていただきます。
- ◆ 国際会議セッションでの登壇機会
- ◆ 展示会場内でのプレゼンテーション
- ◆ 貴社占有会議室の貸与
- ◆ 貴社展示ブースへの各国代表の誘導 / ツアー
- ◆ 会議・展示会参加者リストへのアクセス
- ◆ VIP ランチへのご招待

ゴールドスポンサー 協賛金 1,000万円

- ◆ 展示ブース 6小間 (3m × 3m/1小間)
- ◆ 会議参加券 25枚
- ◆ セカンドサーキュラー、プログラム集、展示会ガイドブックへの広告掲載 (電子と紙の併用) 1頁 (4色、掲載面は抽選)
- ◆ 会場内での社名・ロゴ等掲示 (小)
- ◆ 大会公式ホームページから貴社ホームページへのリンク
- ◆ 大会公式ホームページでの記事掲載
※記事原稿は各協賛企業にて作成
- ◆ 国際会議会場内スクリーンでのPR動画の上映 (動画1分以内、幕間、コーヒープレイク時など)
※動画は各協賛企業にて制作
- ◆ 会場内デジタルサイネージでのPR動画の上映 (動画15～30秒以内) ※動画は各協賛企業にて制作
- ◆ 実施報告書へのロゴ掲載
- ◆ 展示会場内でのプレゼンテーション
- ◆ 貴社展示ブースへの各国代表の誘導/ツアー
- ◆ 会議・展示会参加者リストへのアクセス
- ◆ VIPランチへのご招待

シルバースポンサー 協賛金 500万円

- ◆ 展示ブース 4小間 (3m × 3m/1小間)
- ◆ 会議参加券 15枚
- ◆ セカンドサーキュラー、プログラム集、展示会ガイドブックへの広告掲載 (電子と紙の併用) 1/2頁 (4色、掲載面は抽選)
- ◆ 会場内での社名・ロゴ等掲示 (小)
- ◆ 大会公式ホームページから貴社ホームページへのリンク
- ◆ 会場内デジタルサイネージでのPR動画の上映 (動画15～30秒以内)
※動画は各協賛企業にて制作
- ◆ 実施報告書へのロゴ掲載
- ◆ 展示会場内でのプレゼンテーション
- ◆ 会議・展示会参加者リストへのアクセス

ブロンズスポンサー 協賛金 250万円

- ◆ 展示ブース 2小間 (3m × 3m/1小間)
- ◆ 会議参加券 5枚
- ◆ プログラム集、展示会ガイドブックへの広告掲載 (電子と紙の併用) 1/2頁 (1色、掲載面は抽選)
- ◆ 会場内での社名・ロゴ等掲示 (小)
- ◆ 大会公式ホームページから貴社ホームページへのリンク
- ◆ 実施報告書へのロゴ掲載
- ◆ 会議・展示会参加者リストへのアクセス

パールスポンサー 協賛金 100万円

- ◆ 会議参加券 5枚
- ◆ プログラム集への広告掲載 (電子と紙の併用) 1/4頁 (1色、掲載面は抽選)
- ◆ 会場内での社名・ロゴ等掲示 (小)
- ◆ 大会公式ホームページから貴社ホームページへのリンク
- ◆ 実施報告書へのロゴ掲載

物品提供 会場内での、自社製品 (飲料、機器・機材など) の協賛提供

申込締切日 協賛いただける企業の皆さまにおかれましては以下の期日までにお申し込みをお願いいたします。
 展示を伴う協賛 (ダイヤモンド、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズ) : 2025年10月24日 (金)
 その他の協賛 (パール、物品提供) : 2026年2月27日 (金)



IV . 組織委員会の組織構成

大会会長・ 実行委員長

野本 弘文
日本小売業協会会長、日本商工会議所特別顧問、東京商工会議所副会頭、
東急(株)代表取締役会長

名誉会長

小林 健
日本商工会議所会頭・東京商工会議所会頭

名誉顧問

岡田 卓也
イオン(株)名誉会長相談役、日本小売業協会元会長

中村 胤夫
(株)三越伊勢丹社友、日本小売業協会元会長

土方 清
日本小売業協会元会長

実行委員会委員

井阪 隆一
(株)セブン&アイ・ホールディングス代表取締役
社長 最高経営責任者

泉田 幸雄
(一社)日本ボランティアチェーン協会名誉会長
オールジャパンドラッグチェーン顧問

岩崎 高治
(一社)日本スーパーマーケット協会会長
(株)ライフコーポレーション代表取締役社長
執行役員

大西 賢治
協同組合連合会日本専門店会連盟理事長
(株)大西屋代表取締役社長

尾崎 英雄
日本チェーンストア協会会長
(株)フジ代表取締役会長

梶原 健司
(公社)日本通信販売協会会長
(株)千趣会代表取締役社長執行役員

久志本 京子
(一社)日本フードサービス協会会長
(株)アールディーシー取締役会長

清野 智
(一社)日本ショッピングセンター協会会長
東日本旅客鉄道(株)顧問

高野 吉太郎
(一社)日本専門店協会会長
(株)新宿高野代表取締役社長

増井 徳太郎
(一社)全国スーパーマーケット協会副会長
(株)紀ノ國屋ファウンダー

増本 岳
(一社)日本フランチャイズチェーン協会会長
(株)カーブスホールディングス代表取締役社長

好本 達也
(一社)日本百貨店協会会長
J・フロント リテイリング(株)取締役

国際会議委員会

委員長
尾崎 英雄
日本チェーンストア協会会長

委員
大西 賢治
協同組合連合会日本専門店会連盟理事長

梶原 健司
(公社)日本通信販売協会会長

杉江 俊彦
(株)三越伊勢丹取締役会長

藤原 裕久
東急(株)取締役専務執行役員

白鳥 和生
流通科学大学商学部経営学科教授

牧野 剛
日本チェーンストア協会専務理事

国際展示委員会

委員長
清野 智
(一社)日本ショッピングセンター協会会長

委員
表 輝幸
(株)ルミネ代表取締役社長

山本 慎一郎
CIO研究会座長、U.S.M.H. 執行役員、(株)カスミ
相談役

小原 琢哉
日本 NCR コマース(株)代表取締役社長

小林 治彦
東京商工会議所常務理事

芳賀 信享
(株)ビジネスガイド社代表取締役社長

大林 修
三井不動産商業マネジメント(株)代表取締役社長

椿 浩
(一社)日本ショッピングセンター協会専務理事

総務委員会

委員長

増井 徳太郎
(一社) 全国スーパーマーケット協会副会長

委員

井阪 隆一
(株) セブン&アイ・ホールディングス代表取締役社長 最高経営責任者

泉田 幸雄
(一社) 日本ボランタリーチェーン協会名誉会長

永井 弘
(株) ニトリホールディングス常務執行役員
(株) ニトリ取締役専務

大堀 左千夫
(株) 東急ストア代表取締役社長 社長執行役員

京谷 裕
三菱食品(株) 代表取締役社長執行役員

伊藤 仁
日本商工会議所・東京商工会議所専務理事

島原 康浩
(一社) 全国スーパーマーケット協会常務理事

財務委員会

委員長

増本 岳
(一社) 日本フランチャイズチェーン協会会長

委員

岩崎 高治
(一社) 日本スーパーマーケット協会会長

大石 次則
(株) 東急百貨店代表取締役社長執行役員

中島 良和
(株) 小田急百貨店代表取締役社長

細見 研介
(株) ファミリーマート代表取締役社長

大日方 良光
(一社) 日本フランチャイズチェーン協会専務理事

広報・宣伝委員会

委員長

好本 達也
(一社) 日本百貨店協会会長

委員

久志本 京子
(一社) 日本フードサービス協会会長

高野 吉太郎
(一社) 日本専門店協会会長

相田 昭一
(株) 丸井グループ常務執行役員 CDO

秋田 正紀
(株) 松屋取締役会長

國津 則彦
(株) 東武百貨店代表取締役 CEO 兼社長

澁谷 尚幸
(株) 東急エージェンシー相談役

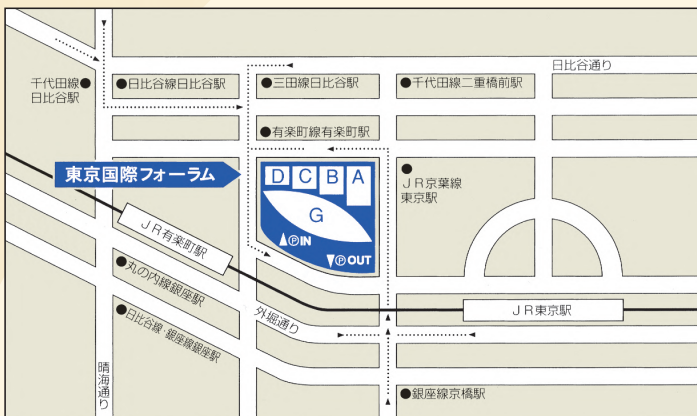
新津 研一
(一社) ジャパンショッピングツーリズム協会
代表理事・事務局長

西阪 義晴
(一社) 日本百貨店協会専務理事

特別顧問 岡田 元也 イオン(株) 取締役兼代表執行役会長
似鳥 昭雄 (株) ニトリホールディングス代表取締役会長兼 CEO

予定会場 東京国際フォーラム

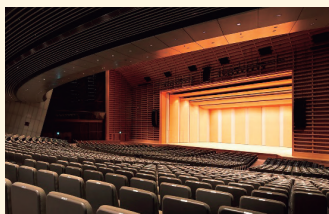
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 代表電話: 03-5221-9000



- JR 線
 - 有楽町線より徒歩 1 分
 - 東京駅より徒歩 5 分
 - (京葉線東京駅と B1F 地下コンコースにて連絡)
- 地下鉄
 - 有楽町線: 有楽町駅より徒歩 1 分 (B1F 地下コンコースにて連絡)
 - 千代田線: 二重橋前駅より徒歩 5 分 / 日比谷駅より徒歩 7 分
 - 丸の内線: 銀座駅より徒歩 5 分
 - 銀座線: 銀座駅より徒歩 7 分 / 京橋駅より徒歩 7 分
 - 三田線: 日比谷駅より徒歩 5 分



東京国際フォーラム外観



ホール A



ホール C



展示ホール

【参考】これまでのアジア太平洋小売業者大会

- | | | | |
|------|---------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | ● 東京大会 | 1983年4月26日～29日 | テーマ「流通業の未来戦略 IN ASIA」
参加国11カ国・地域 参加者596名(内、日本262名) |
| 第2回 | ● ソウル大会 | 1985年10月15日～18日 | テーマ「アジア小売業を取り巻く環境の変化とそれに対応する戦略」
参加国11カ国・地域 参加者517名(内、日本249名) |
| 第3回 | ● 香港大会 | 1987年9月8日～10日 | テーマ「アジア小売業のダイナミックス」
参加国11カ国・地域 参加者541名(内、日本335名) |
| 第4回 | ● シンガポール大会 | 1989年9月19日～22日 | テーマ「1990年代におけるアジア小売業の新たな広がりと躍進」
参加国11カ国・地域 参加者1,097名(内、日本616名) |
| 第5回 | ● バンコク大会 | 1991年11月5日～9日 | テーマ「変動する世界の中のアジア小売業」
参加国11カ国・地域 参加者1,257名(内、日本574名) |
| 第6回 | ● マニラ大会 | 1993年10月5日～8日 | テーマ「21世紀に向けての小売業の飛躍」
参加国12カ国・地域 参加者1,295名(内、日本275名) |
| 第7回 | ● クアラルンプール大会 | 1995年9月19日～21日 | テーマ「流通業の未来と2020年のビジョン」
参加国12カ国・地域 参加者1,757名(内、日本750名) |
| 第8回 | ● アデレード大会 | 1997年10月28日～31日 | テーマ「新時代に向けての小売業の挑戦」
参加国14カ国・地域 参加者1,322名(内、日本633名) |
| 第9回 | ● 台北大会 | 1999年9月7日～9日 | テーマ「21世紀に向けての小売業の挑戦」
参加国14カ国・地域 参加者1,698名(内、日本633名) |
| 第10回 | ● ジャカルタ大会 | 2001年9月4日～6日 | テーマ「変貌するグローバル市場における小売業の対応」
参加国14カ国・地域 参加者1,115名(内、日本621名) |
| 第11回 | ● クライストチャーチ大会 | 2003年9月23日～25日 | テーマ「リフレッシュ」
参加国14カ国・地域 参加者1,390名(内、日本608名) |
| 第12回 | ● 北京大会 | 2005年9月6日～10日 | テーマ「革新と協力」
参加国17カ国・地域 参加者2,690名(内、日本997名) |
| 第13回 | ● 東京大会 | 2007年10月10日～12日 | テーマ「先進、そして調和」
参加国15カ国・地域 3,156名(内、日本1,914名) |
| 第14回 | ● ソウル大会 | 2009年10月14日～16日 | テーマ「Retail for the Future of Life & Economy」
参加国16カ国・地域 3,403名(内、日本511名) |
| 第15回 | ● シンガポール大会 | 2011年10月10日～13日 | テーマ「Discover, Differentiate, Deliver!」
参加国17カ国・地域 1,900名(内、日本623名) |
| 第16回 | ● イスタンブール大会 | 2013年9月23日～25日 | テーマ「The New World, The New Retail, The New Consumer」
参加国17カ国・地域 2,164名(内、日本620名) |
| 第17回 | ● マニラ大会 | 2015年10月28日～30日 | テーマ「急伸するアジア」
参加国17カ国・地域 1,800名(内、日本500名) |
| 第18回 | ● クアラルンプール大会 | 2017年10月25日～27日 | テーマ「変革と創造、その先に」
参加国19カ国・地域 2,000名(内、日本452名) |
| 第19回 | ● 重慶大会 | 2019年9月5日～7日 | テーマ「新しい小売、新しい消費、新しい潮流～連携と共有」
参加国20カ国・地域 3,900名(内、日本480名) |
| 第20回 | ● ジャカルタ大会 | 2022年11月28日～30日 | テーマ「強い小売、強い経済(Strong Retail, Strong Economy)」
参加国20カ国・地域
リアル参加:100名(内、日本4名)
オンライン参加:1,000名(内、日本292名)
1,100名 |
| 第21回 | ● コロンボ大会 | 2024年9月4日～6日 | テーマ「Redefining Retail in APAC: From Transactions to Transformation」
(アジア太平洋地域における小売業の再定義～トランザクションからトランスフォーメーションへ)
参加国14カ国・地域 678人(内、日本117名) |

第21回コロンボ大会の概要は以下のQRコードからご覧になれます。



日本小売業協会

日本小売業協会は、わが国小売業の健全な発展をめざし、国民生活に寄与することを目的に商工会議所を中心として、小売業に関連する有力団体が発起人となり、1978年5月に設立されました。業種・業態や規模の大小を超えた流通小売業共通の課題解決に取り組むとともに、世界各国の小売業協会との交流、海外展開支援や、小売業の効率化と流通の近代化のためのDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進啓発、国内外の流通に関する情報提供などの活動を展開しています。

日本小売業協会役員（2024年12月現在）

会長

野本 弘文 東急(株) 代表取締役会長

副会長

井阪 隆一 (株)セブン&アイ・ホールディングス
代表取締役社長 最高経営責任者

泉田 幸雄 (一社)日本ボランティアチェーン協会 名誉会長
オールジャパンドラッグチェーン 顧問

岩崎 高治 (一社)日本スーパーマーケット協会 会長
(株)ライフコーポレーション 代表取締役社長執行役員

大西 賢治 協同組合連合会日本専門店会連盟 理事長
(株)大西屋 代表取締役社長

尾崎 英雄 日本チェーンストア協会 会長
(株)フジ 代表取締役会長

梶原 健司 (公社)日本通信販売協会 会長
(株)千趣会 代表取締役社長執行役員

久志本 京子 (一社)日本フードサービス協会 会長
(株)アールディーシー 取締役会長

清野 智 (一社)日本ショッピングセンター協会 会長
東日本旅客鉄道(株) 顧問

高野 吉太郎 (一社)日本専門店協会 会長
(株)新宿高野 代表取締役社長

増井 徳太郎 (一社)全国スーパーマーケット協会 副会長
(株)紀ノ國屋 ファウンダー

増本 岳 (一社)日本フランチャイズチェーン協会 会長
(株)カーブスホールディングス 代表取締役社長

好本 達也 (一社)日本百貨店協会 会長
J・フロント リテイリング(株) 取締役

監事

大島 博 (株)千疋屋総本店 代表取締役社長

國分 勘兵衛 国分グループ本社(株) 代表取締役会長兼 CEO

細田 安兵衛 (株)榮太樓總本舗 取締役会長



22nd
APRCE
TOKYO 2026

<協賛に関するお問合せ窓口>

日本小売業協会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-4-2 日専連朝日生命ビル 3 階

Tel : 03-6758-1771 Fax : 03-6758-1772

E-mail : aprce2026@japan-retail.or.jp